



一から学ぶ海ごみ講座 開催しました!

日時: 平成29年8月5日(土)
10:00~12:00

会場: サポートホール高松
62会議室

講師: 森田 桂治氏(NPO法人アーキペラゴ副理事長)
谷 光承 氏(アシスタント)



8月5日、サポートホール高松62会議室にて、一から学ぶ海ごみ講座を開催したところ、親子連れなど26名が受講しました。講師に、豊かな瀬戸内海を守るため、様々な活動に取り組んでいらっしゃるNPO法人アーキペラゴ副理事長の森田桂治氏をお招きしました。



森田氏から海ごみの原因や現状、また問題などを知り、私たちが今後何をすべきかについて分かりやすい解説がありました。

講義の前半は現在海ごみが動物にどのような影響を及ぼしているかについて、スライドを用いて解説が行われました。



続いて海ごみの動物への影響を実際に体験するコーナーもありました。トリやカメといった動物になったつもりで、体に巻き付いた紐から開放できるかやってみようという実験では、子どもたちも手を使わないとしてももつれた紐から逃れる事ができず、動物たちの苦勞を知ることができたようです。



子どもたちに体験で感じていただく実験として、ポップコーンと発泡スチロールという、どちらも見分けが付きにくい白いものを、目を隠して紙コップに入れていく作業が行われました。誤って食べた消化できない物は胃にどんどん溜まっていくという状況を知ることができました。

後半は、教室に展示された実際の海ごみを例に、自由研究の課題として海ごみを扱ってみる時の工夫などが紹介され、標本の作り方や、注射針など触ってはいけない危険な海ごみなどもあると解説がありました。



最後に、この講座を踏まえて実際に家族で海に出かけ、海ごみについて研究するフィールドワークの勧めについて解説され、締めくくられました。